

後期研修プログラム（卒後3年目以降）

血液内科

和歌山県立医科大学附属病院血液内科は造血器腫瘍・造血不全・出血性疾患・後天性免疫不全症を担当しています。血液内科独特の治療である造血幹細胞移植件数は全国でも有数（平成23年度，全国7位）です。また，研究面においては造血不全における免疫病態や造血器腫瘍の遺伝子異常を得意領域としています。少ない人数でピカリと光る仕事をしていると自負しています。

和歌山県立医科大学附属病院血液内科の後期研修においては，以下の点を重視しています。

- 1) 自ら考え、自ら行動し、広く国内外で活躍する医療人の育成が目標です。
- 2) 一般内科の基本診療を習得し、その上で血液専門診療の研鑽を積むことを重視します。
- 3) 日本内科学会認定内科医、日本血液学会認定血液専門医、日本臨床腫瘍学会認定専門医、日本輸血学会認定医などの資格を取得できるよう支援します。
- 4) チーム医療に徹し、同僚や患者さんなどから信頼が得られるような臨床医の育成をめざします。
- 5) 医療の質の向上に欠かせない科学的思考を涵養するために大学院進学を勧めています（進学時期は後期研修のどの時期でもよい）。
- 6) 学位取得後は、希望があれば海外留学を支援します。実力を高め、視野を広め、大きな舞台で堂々と活躍してほしいと考えています。
- 7) 研修施設や期間などの具体的な研修計画は各人の将来ビジョンを参考に一緒にたて、しかも適宜、最適な見直を加えていきます。

（後期研修における診療の目標）

1. 入院患者を主治医として診察していただきます

他の診療科と同様に患者さんの話を聞き、適切な身体所見をとることが重要です。科長（中熊教授）の部屋のドアには「Patients tell you the diagnosis」というオスラー博士の格言が飾られています。

末梢血標本や骨髄標本の形態を指導医と一緒にディスカッションしながら見て形態診断の基礎をおぼえることが可能です。その上で専門的な分子遺伝学的検査・細胞表面抗原マーカー検査などの特徴を学んでいきましょう。

治療方針の決定には、指導医の助言のもとに自らも文献にあたって最善の治療を選択するようにします。患者さんやご家族に十分な説明を行うことも大切です。

当科においては、不幸にして患者さんが亡くなったときには、自らの診療を省み診療の質を常に高める目的で、病理解剖を行っていただくように努めています（当科における病理解剖率は40%を超えています）。臨床経過と剖検から得られた所見を比較することにより、診療能力は格段に上昇していくでしょう。

主治医として患者さんを診ていくにあたって、月曜日夕方のチャートカンファレンス、火曜日の教授回診、毎夕の入院カンファレンスで先輩・同僚の意見を聞くことができます。

2. 院内からの外来紹介患者を診察していただきます。

血液疾患が疑われた院内患者さんの外来診察を行っていただきます。どのようなヒストリーテイキングが必要か、どのような身体所見に気をつければいいのか、検査値をどう見るのか、今後の検査・治療方針はどうするのか、といった病態生理学的思考を学んでください。不明な点があれば先輩にどしどしお聞き下さい。

3. 研究マインドをもった臨床医を目指していただきます（症例から研究へ）

実際の医療の現場では、不明なこと・奇妙なことにたくさん遭遇すると思います。その中から一つでもいいので新しい「事実」を見出し、医学の進歩に貢献してください。そのために診断に困った症例や特異な経過を示した症例については、月に一度、「ケース・カンファレンス」を行っています。また、最新の医学知識を得るために NEJM 誌の「Case Record of Massachusetts General Hospital (MGH)」の診断会を2週に一度行っていますし、基礎・臨床の原著論文を紹介する輪読会を週に一度行っています。

以下に主な週間スケジュールを示します。

	診療前	午前	午後	16時以降	17時以降
月曜日		診療	診療	医局会	チャートカンファレンス
火曜日		教授回診	診療	入院カンファレンス	大学院生・教官輪読会
水曜日		診療	診療	入院カンファレンス	ケース・カンファレンス、研究打ち合わせ
木曜日	MGH 検討会	診療	診療	入院カンファレンス	月に一度、移植カンファレンス
金曜日		診療	診療		

(後期研修のあと)

①大学院に進学していただき、博士号を取得する。②和歌山県内の関連病院（和歌山労災病院、紀南病院など）で実地研鑽を積む。③和歌山県外の病院にて研修する。いずれの場合も本人の希望を踏まえて、サポートしていきます。

和歌山県においては血液疾患を診療する医師が少なく、「血液疾患を診れる」ということほどの病院においても必ず重宝されます。是非、当科に入局して縦横無尽に活躍してください。